

花乃井だより

学校
通信

令和4年8月1日(月)
第95号
大阪市立花乃井中学校

夏休みチャレンジ講座実施中!!

例年、夏休みに実施しているチャレンジ講座。昨年・一昨年はコロナ禍で様々な制限がありましたが、今年はほぼ例年通りに実施できています。

《玄関に掲示された講座一覧》



1年生が10講座、2年生が12講座、3年生が25講座で合計47講座もあります。特に3年生は入試対策ということもあって5教科の基礎から発展コースや分野を絞った講座が目白押し。「英検対策講座」は級を絞って、また「25mを泳げるようになろう」とともに全校共通で実施されています。

午前中には各学年で補充学習も行われています。部活動も毎日いずれかの部活で試合があったり、練習があったり、2学期に予定されている文化祭の準備を行ったりと、活発な活動が行われています。とにかく感染症対策と熱中症対策です。感染が増加している今こそ、そして猛暑が続く今こそ、一人ひとりが気をつけて健康管理をしていきましょう。

小中連携部会



この夏休み中には、小学校と中学校の連携部会も行われています。本校と校下3小学校（西船場・本田・明治）で連携し、スムーズな教育活動が継続できるように様々なことを検討・実施しています。

本年度は、まず6月22(水)に本年度の第1回目の総会を行いました。4校から多くの教員が集まり、全体会の後、学力・授業研究部や児童・生徒理解研究部等、9の分野に分かれて、分科会を行いました。それぞれに今年のテーマを決定し、年間の活動計画を立てました。最後に各教科に分かれて、9月に実施予定の『中学校授業体験』の授業について情報交流を行いました。小学生の皆さんに中学校に

来てもらって、実際の中学校での授業を体験してもらう取り組みですが、現在小学校で行われている授業内容から接続・延長を考慮しての授業を行うための打ち合わせです。こちらの方も活発な議論が行われました。感染症の拡大によって実施が危ぶまれるところですが、例年通り実施されればと思います。

この夏休み中には、7月20日(水)の体力・体育授業研究部会が先頭で、特別支援教育研究部の8月24日(水)を最後に、9つの部会合わせて延べ11回の部会が実施される予定です。暑い中ですが、よろしくお願いします。

1学期のアルバム

3年修学旅行①

このページで1学期のトピックスのいくつかを振り返ってみたいと思います。

まずは、3年生の修学旅行です。6月8日(水)～10日(金)の日程で広島・愛媛・徳島と瀬戸内海を一周する形で実施されました。各メイン行事は、広島の平和学習・愛媛の体験別班別行動・徳島のラフティングでした。感染症に阻まれることなく、天候にも恵まれて、予定通り実施することができました。昨年・一昨年のことを思うと、それだけで感慨深いものがありました。

学年の目標を『74期生のみんなで協力し、メリハリと思いやりを大切にして最高の思い出にしよう!』と掲げて実施された修学旅行。各クラスにそれぞれ目標がありました。

1組 仲間とともに団結し、友情を深められる充実した修学旅行にしよう。

2組 みんな なかよしになろう!!

3組 学年一の絆を作り出そう。

4組 74期生の中で一番かたい絆をつくろう

5組 さあ GO! 3年5組! みんなで協力し、一番仲のいいクラスにしよう!

皆さんは、目標を達成することができたでしょうか。昨年度から活動を開始していた実行委員会のメンバーを中心に、74期生皆さんのが詰まった見事な修学旅行になったと私は思います。



《厳粛な雰囲気の平和セレモニー》

1日目は広島にて平和学習。広島平和記念資料館で生々しい原爆の被害状況を見学し、被爆者の方々から証言講話を伺いました。これまで原爆について様々に学んできましたが、実際自分の目で見る写真や焼け焦げた服等の遺品の数々には、言葉にはできない思いがこみ上げてきました。また、講話からは私たちの知らない背景や思いを聞くことができ、大変貴重な時間となりました。

そして、原爆の子の像の前で私たちの平和セレモニーを開催しました。千羽鶴の奉納に続いて平和宣言を行い、「戦争から目を背けず、平和のためにできることを考えること」「今をより良くしようという意志を持って行動すること」が大切であり、「笑顔あふれる世界の実現を目指すこと」を誓いました。とても厳粛で決意あふれるセレモニーとなりました。

○ 74期生『平和宣言』

1945年8月6日、今から77年前の広島に原子爆弾が投下されました。私たち花乃井中学校74期生は、戦争や原爆について学習し、平和について考えたため、原爆が落と



されたこの地を訪れました。私たちはこれまで、資料や映像から戦争について学び、平和について考え、話し合ってきました。

それらの資料や映像、被爆証言講話は、被爆した方々の、「悲惨な戦争の歴史を繰り返さないために、後世に伝えよう」という思いからです。一方、被爆体験を語れる人が減りつつあるということも知りました。たった一発の原子爆弾によって、一瞬にして罪のない多くの人々の命が失われたこと、長い年月を経てもなお、苦しんでいる人が大勢いる、ということを忘れてはいけません。

『歴史は繰り返す』と言いますが、戦争は二度と繰り返されなければならないと私たちは思います。

今、世界に目を向けてみると、いろいろな国々が戦争をしています。その中でも一番知られているのはロシアとウクライナの問題です。2月24日から3か月以上、戦争が続いています。そのため、ウクライナの人々は、毎日、攻撃されるかもしれないという不安の中で暮らしています。

その現状は世界中の人々に知られ、戦争反対のデモも起こっています。もちろんロシアでもです。ですが、ロシアの人々も、攻撃する側の国出身だということだけで、差別されています。

また、日本国内では、戦争はしていませんが、いろんな国との間での領土問題が起こり、沖縄の米軍基地の埋め立てなどの問題で抗議している状況があります。

それ以外でも、放火や殺人などいろいろな事件を耳にします。みんなが安心して暮らせる世界を平和な世界だというのなら、今の世の中は平和とは言えません。

私たちは、今すぐに核兵器を全てなくしたり、戦争をやめさせたりできるような大きな力はありません。

だからと言って、戦争から目を背けるのではなく、知識を深め、平和のために何ができるのか、何をすべきなのか、考えることが大切です。

まずは、私たちが今、「当たり前」の生活ができているということに感謝しなくてはなりません。そして、私たちが感じる「当たり前」が世界中に広がるように努めなくてはならないのです。

自ら進んで歴史を学び、平和についての理解を深め、次の世代に伝えていきます。また、命の尊さを理解し、いじめ・差別・偏見を無くし、いろいろな立場の人が受け入れられるような環境づくりを目指します。私たちにできることは、ちっぽけなことかもしれません。ですが、たとえ小さなことでも行動を起こし、今をよりよくしようという意志を持って行動することが大切なことです。

私たち、花乃井中学校74期生は、平和を願い、笑顔あふれる世界の実現を目指すことをここに誓います。